

びわこ学院大学 令和四年度 学校推薦型選抜(公募推薦) 「教養問題」

※設問で指示をした字数には句読点等も含まれます。

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。 * 言葉に付された傍点は省略しています。

敬語は使っていても、使い方が不適切で、上から目線になってしまっていることがあります。上から目線は読み手にもすぐに伝わり、不快の原因になります。次の例を見比べてください。

- ・ うちの社の方の対応が不十分で、ほんとうに(ご)めんなさい/すみません)。
- ・ うちの社の方の対応が不十分で、まことに(申しわけありません)。
- ・ うちの社の方の対応が不十分で、まことに(失礼しました/遺憾です/残念です)。

「ごめんなさい」「すみません」「申しわけありません」は、あらたまり度にごそ差がありますが、いずれもお詫びの表現です。このなかでは「I」がもっとも丁寧で、「II」が多少丁寧さが薄れ、「III」はややぞんざいですが、それでも、どれも自分の責任で正面から謝ろうという姿勢があります。

ところが、「失礼しました」「遺憾です」「残念です」は、お詫びかどうかは判断が分かれるでしょう。「失礼しました」がもっともお詫びに近いのですが、相手に迷惑をかけたことを謝っているだけで、自分に責任を感じているかどうかは(1)「ビミョウ」です。

「遺憾です」「残念です」だとさらに怪しくなります。迷惑をかけた事実を認めつつも、(a) それにたいして謝ってすらいません。責任逃れの感が強く、これでは相手が気分を害してしまうでしょう。

A、きちんと謝罪したいときに、「失礼しました」「遺憾です」「残念です」は避けたほうが(ア)賢明です。言葉こそ丁寧ですが、心からの謝罪になりにくく、かえって相手に不快感を与えるおそれがあるからです。

- また、メルリングリストで、同意を求められることもあります。こちらも次の例を見比べてみてください。
- ・ (ご)提案の内容に(賛成です/同意します/異存ありません)。
- ・ (ご)提案の内容で(結構です/かまいません/よろしいです)。

「賛成です」「同意します」「異存ありません」は相手にたいする積極的な賛意を表します。提案の内容をまとめた相手にたいする敬意も、ここに含まれていると見ることができましょう。

一方、「結構です」「かまいません」「よろしいです」というのは「問題ない」という評価を含みます。この評価という視点に、上から目線が含まれるのです。対等な立場でこのように書かれたら、カチンと来る人もいるでしょう。

一見敬語風でも、上から目線が入ることがありますので、注意が必要です。

慇懃無礼という表現をご存じでしょうか。丁寧な言葉を使うからこそ、かえって失礼になるということですよ。

三・一のときに問題になった表現に、東京電力の「(ご)被害者のみなさまへ」があります。この表現が、原発の事故で被害を受けた方々の怒りに油を注ぐことになりました。言葉だけ丁寧なすればうまくいくというわけではないのが、敬語の難しいところです。

私の研究室には大学院生がたくさんいるので、大学院生が書いた論文を年中チェックしているのですが、その論文に「玉稿」という語を使ったところ、学生たちに嫌がられました。私のほうに(2)タイはなく、学生たちの実力を評価して、ほめるつもりでそう書いていたのですが、(b)学生たちにとっては「嫌味」か「皮肉」にしか聞こえないのだそうです。

言葉は丁寧だけれども、(3)ウムを言わせない一方的な要求も慇懃無礼になりがちです。「(ご)理解・(ご)協力のほど、よろしくお願ひします」と言われ、ほんとうは「理解」も「協力」もしたくないのに、と思うことはないでしょうか。「事情(ご)賢察のほど、よろしくお願ひします」と言われ、自分はそうした事情を察するほど賢くはない、と感じることはないでしょうか。「(ご)承いただけますよう、よろしくお願ひします」と言われ、「了承できない」と思うのは私だけでしょうか。「そうした(ご)要望にはお応えしかねます」と言われたとき、それならば、「そうした(ご)要望にはお応えできません。すみません」とはつきり断つてもらったほうがかえってすつきりするのには、という気にならないでしょうか。

最終的には先方の自己都合の押し付けなのに、言葉の形だけ(4)テイサイを整えられると、読み手には慇懃無礼に感じられてしまいます。

敬語の(イ)過剰使用も問題になります。「おっしゃられます」や「お出でになられます」のような二重敬語ならばまだしも、「お召しあがりになられます」や「お辞めになられていらつしやいます」のような三重敬語はさすがにやりすぎでしょう。(ウ)下手をすると、皮肉になりかねません。

また、IVの敬語は、丁寧さを装っているようで、「謙讓語」によって相手の行為を低めてしまったため、馬鹿にしていると受け取られるおそれがあります。「いただく」「参られる」「拝見なさる」などが(c)そのパターンです。

もう一つ、「I」のつく名詞にも注意が必要です。

相手が書いた「I返事」はよくても、自分が書いた「I返事」はおかしいかも、と思ったことはありませんか。

じつは、これ自体はおかしくありません。相手が受け取る「I返事」であり、「I返事する」の「I返事」なので、自然です。「I提案」「I説明」「I紹介」「I案内」「I報告」「I確認」「I相談」「I連絡」「I返信」などは、相手が行為者の場合も、自分が行為者の場合もいずれも使用可能です。

B、「I検討」「I協議」「I都合」「I予定」「I教示」「I指導」「I要望」「I要請」などは、相手の行為には使えませんが、自分の行為には使えません。「I検討」「I協議」「I都合」「I予定」のように、相手と関わりなく、自分たちのなかだけで行為が完結する場合は、「I」はつけにくいのです。それが、「I私」でも「I検討の結果」「I私のI都合」などがおかしい理由です。また、「I教示」「I指導」は、そもそも立場が上の人がする行為ですので、自分の行動を「I教示」「I指導」とは言いにくいですし、「I要望」「I要請」の場合は、相手に不利益を押しつけることになるので、やはり自分の行動を「I要望」「I要請」とは言いにくいように感じます。

(d) のように敬語は、ルールを憶えただうえで、上から目線にならないように、慇懃無礼にならないように語を選択することが大切です。

(石黒圭『語彙力を鍛える』光文社新書)

問一 傍線部(1)～(4)のカタカナを漢字で書きなさい。

- (1) ビミョウ (2) タイ (3) ウム (4) テイサイ

問二 傍線部(ア)～(ウ)の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

- (ア) 賢明 (イ) 過剰 (ウ) 下手

問三 空欄 A、B に最適なものを選び、それぞれ番号で答えなさい。

1. また 2. ところ 3. ところが 4. したがって 5. さらに

問四 空欄 I、III に入る最適な語を文中より抜き出してそれぞれ答えなさい。

問五 空欄 IV に入る適語を次の中から選び、番号で答えなさい。

1. 「丁寧語＋尊敬語」 2. 「丁寧語＋謙讓語」 3. 「謙讓語＋尊敬語」 4. 「謙讓語＋丁寧語」

問六 傍線部(a)、(c)の指示内容を答えなさい。

問七 傍線部(b)「学生たちにとっては「嫌味」か「皮肉」にしか聞こえない」理由を説明しなさい。

問八 傍線部(d)「このように敬語は、ルールを憶えただうえで、上から目線にならないように、慇懃無礼にならないように語を選択することが大切です」について次の問いに答えなさい。

- ① 「慇懃無礼」の読みを答えなさい。また、その意味を文中の語を用いて説明しなさい。
 ② 「上から目線にならないように」にする理由は何か、文中の語を用いて十五字以内で答えなさい。

正答例 & 解説

2022年度 学校推薦型選抜（公募推薦）【国語】

正答例

- 問一 (1) 微妙 (2) 他意 (3) 有無 (4) 体裁
 問二 (ア) けんめい (イ) かじょう (ウ) へた
 問三 A 4 B 3
 問四 I 申しわけありません II すみません III ごめんなさい
 問五 IV 3
 問六 (a) 迷惑をかけた事実 (c) 馬鹿にしていると受け取られるおそれがある
 問七 (b) 自分の論文が「玉稿」と言えるようなものではないから
 問八 ①「読み」いんぎんぶれい
 「意味」丁寧な言葉を使っていることが、かえって失礼であること
 ②相手の不快感の原因になるから

大問	問	配点
	1	各1点×4
	2	各1点×3
	3	各1点×2
	4	各1点×3
	5	1点
	6	各1点×2
	7	2点
	8	各1点×3
		合計 20点



大学受験のエキスパート!

が詳しく解説!



攻略ポイント

全体で評論の読解問題が1題で、設問数が8問。設問内容は、漢字問題、接続語などの空欄補充問題、抜き出し問題、指示語の指摘をする問題、内容説明の問題、理由説明の問題である。全体的な難易度は高校基礎から標準レベルで、設問は基礎的な学力を問うものであり、難問レベルのものはない。漢字の読み・書き、抜き出し、選択問題を含む記述式で出題されている。文章は比較的読み取りやすい内容であり、2000字程度で標準的な文量である。設問については、文章内容の正確な理解を問うものである。まずは学校で学習する内容を理解して、丁寧に文章を読み、設問に対して正確に解くことを身につけよう。そのうえで、練習問題やびわこ学院大学の過去問題を解いてしっかりと準備しよう。過去問題は必ず時間をはかり、2回以上解いて、読むスピードや解くスピードといった時間配分を確認しておこう。

問三

空欄補充問題では、前後のつながりを確認して判断しよう。空欄Aでは直前「相手が気分を害してしまう」と直後「避けたほうが賢明です」とのつながりを確認すると、順接の関係を表す「したがって」に決まる。空欄Bでは直前「いずれも使用可能」と直後「自分の行為には使えません」とのつながりを確認すると、逆接の関係を表す「ところが」に決まる。空欄補充の問題は頻出なので、試験本番で正解できるよう過去問題で練習しておこう。

問五

空欄補充の問題であり、同じ段落の2文目にある「いただける」「参られる」「拝見なさる」という具体例から、用いられている敬語の識別が問われていることがわかる。尊敬語、謙譲語、丁寧語について、敬語に関する知識を国語便覧や資料集などで確認しておこう。

問六

指示語が指す内容を指摘する問題である。傍線部(a)の直後に「謝って」とあり、指示する内容は謝るべき内容であることがわかる。それゆえ、直前にある「迷惑をかけた事実」を特定できる。傍線部(c)の直後に「パターン」とあり、指示する内容は、直前の具体例をまとめた「パターン」であることがわかる。それゆえ、直前にある「馬鹿にしていると受け取られるおそれがある」ことであると特定できる。

問七

「学生たち」には「嫌味」か「皮肉」にしか聞こえない」と判断できる理由を説明する問題。直前文の「学生たちに嫌がられました」＝「嫌味」・「皮肉」であると判断できる。その部分を解答の要素としてまとめて説明しよう。

問八②

本文全体を大きく見渡して考えよう。本文冒頭部に、「上から目線」に関して「上から目線は読み手にもすぐに伝わり、不快感の原因になります」という説明を見つけることができる。字数指定に合わせてコンパクトにまとめよう。